

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第2回 民間活力をいかした高松市中央公園再整備検討委員会
開催日時	令和5年11月7日（火）13時30分～15時
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議 題	1. 第1回委員会の振り返り及び市民等から寄せられた御意見について 2. 関係機関等との協議結果について 3. 先進地（神戸市東遊園地）視察報告について 4. 中央公園再整備基本設計の考え方について 5. その他（今後のスケジュール等）
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	西成委員長、長井委員、稲毛委員、片山委員、中橋委員、菊地委員、奥村委員、濱崎委員、野崎委員、大塚委員、山崎委員、神余委員
傍 聴 者	20人 （定員 20人）
担当課及び連絡先	公園緑地課計画係 087-839-2494

会議の経過及び結果
<p>第2回委員会を開会し、次の議題について協議及び意見聴取し、下記の結果となった。</p> <p>（1）第1回委員会の振り返り及び市民等から寄せられた御意見について</p> <p>（2）関係機関等との協議結果について</p> <p>資料1及び資料2について、事務局より説明し、各委員より次のとおり意見があった。</p> <p>（稲毛委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の樹木の伐採の考え方、再活用の方針についてどのように考えているか。 <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に既存の樹木は保存する方針であるが、生育環境の悪化や防犯上問題のある樹木等については、一定の整理をする方針で検討している。

(3) 先進地（神戸市東遊園地）視察報告について

9月28日（木）に実施した先進地視察について、大塚委員より説明いただき、各委員より次のとおり意見があった。

（中橋委員）

- ・神戸市東遊園地は、街中にあることを感じさせない、風通しが良く、アプローチが良い公園であると感じた。
- ・芝生広場は、子供を安心して遊ばせるなど日常的な休憩・休息の場となっており、周辺施設とともにおしゃれな空間であった。

（委員長）

イベント時だけに限らず、常時、人が多く集まる公園になるとよい。

（稲毛委員）

- ・神戸市東遊園地と異なり、高松中央公園では周辺に住宅が多いため、周辺環境も考慮して検討してほしい。
- ・公園内で市民活動を継続してできる仕組みづくりを検討してほしい。

（委員長）

- ・市民が使いやすく、自然と共存した公園にしていくためには、管理運営の方法が重要である。
- ・神戸市東遊園地の方針をそのままコピーするのではなくより、高松らしさのある魅力的な公園を計画したい。

(4) 中央公園再整備基本設計の考え方について

資料4について、事務局より説明し、各委員より次のとり意見があった。

（中橋委員）

- ・中低木を伐採する方針について、風通し・見通しが改善されるため良いと思う。
- ・わんぱく広場・キッズ広場はこどもが遊べる空間として良いが、平日は利用が少なくなることが考えられ、高齢者や若者も使える機能や名称、デザインを検討してはどうか。
- ・市民持ち込み型のイベントの仕掛けづくり、テントやベンチ、テーブルの貸出、バックヤード機能があると便利であると考えます。
- ・ペット等の動物への配慮は検討しているのか。

（事務局）

- ・利用のルールやイベントのしやすい環境づくり等については、今後検討する。
- ・ルールが多すぎると、窮屈な公園になってしまうため、利用ルールの弾力化を図り、市民の皆様にとって利便性の高い公園にしたい。
- ・動物は、ペットと利用したい人と苦手な人が両方いるため、双方の立場を考慮し検討したい。

(長井委員)

- ・神戸市の事例を参考にしつつ、高松らしさを出していかれたらいいと思う。
- ・現状の中央公園は高低差が大きいが、高齢者・身体障害者への配慮は検討しているか。
- ・若者のニーズが高いアーバンスポーツは、安全性を考慮したゾーニングが必要となる。
- ・DX、GXの推進として、どのような検討をしているか。

GXについては、既存樹木の整備方針は有効であると考えます。

DXについては、照明計画を季節ごとに変えるなどデジタル技術を活用した空間演出は検討しているか。

(事務局)

- ・既存の高低差は、地下駐車場施設の構造上変更できない部分であるが、その高低差をうまく活用し、魅力づくりにつなげていきたい。

高齢者への配慮については、スロープの処理を検討し、どこからでも入りやすい動線計画を検討している。

- ・アーバンスポーツの空間については、今後利用者の御意見・御要望を踏まえて検討していきたい。
- ・デジタル技術の活用について、神戸市では夜間照明の色合い調整については、特に重点を置いて取り組んだと伺った。中央公園においても、デザイン性、ストーリー性のある演出を検討したい。

(委員長)

- ・夜間照明の演出で、広場を砂浜のように見せ子どもを遊ばせる空間の事例がある。
- ・中央公園外周の道路上を照明で照らす演出も検討したい。

(濱崎委員)

- ・鳥の糞害は高木を間引いたら減少する可能性があるが、ハトの餌やりは依然課題である。神戸市東遊園地では、糞害も少なく、環境の違いが影響しているのではないか。
- ・東遊園地のように、外周道路と公園が自然と一体になるような雰囲気には賛成であるが、現状の外周樹木は架空線の問題や枝の越境の問題、落ち葉による道路排水柵の問題を解決するのであれば、ほとんど伐採せざるを得ないため、どのような設計とするか検討が必要であると思う。

- ・神戸市東遊園地は、周りはビジネス街が中心で、タワーマンション1棟のみであるため、中央公園では住民を考慮した計画を検討すべきである。

- ・インクルーシブ遊具は良いと思うが、遊具メーカーによらないオリジナル遊具の場合はメーカーによる安全点検体制や破損した場合の修復体制が整っていないなど注意が必要である。

- ・神戸市では、イベント時は芝生にパネルを設置することを禁止するといった管理の工夫がされており、参考すべきである。

(事務局)

- ・ハトの餌やりについて、環境部局等とも連携を図るなど、調整していきたい。
- ・外周樹木の伐採についても基本的に既存の樹木は保存する方針であるが、生育環境の悪化や防犯上問題のある樹木等については、一定の整理をする方針で検討している。
- ・中央公園は、神戸市と異なり地元住民のための身近な公園としての役割を果たすべきであるとする。利用ルールを含めて市民等にとって使いやすい公園を実現したい。
- ・遊具については、今後の設計段階で具体的に検討を進める。
- ・芝生広場の管理について、イベント時の工夫など、計画的に芝生を管理する方針を検討したい。

(野崎委員)

- ・障害者関係団体からの意見で、飲食店等の施設に隣接した車イス駐車場の設置の要望が上がっているが、現状公園内ではなく、西側道路部のみであるが、設置は可能なのか。
- ・現状、公園西側にある路上パーキングの有効活用については、どのように考えているか。
- ・東京都、愛知県、福岡県内の ParkPFI 整備事例の視察を行った中で、参考になった部分がある。その中で、南池袋公園では、動物が苦手な方の事も考慮して、ペット専用エリアが設置されていた。また、犬だけでなく、イグアナ、ブタを遊ばせている実態があるがそのような事も考慮していく必要があるのではないか。
- ・公園内で現状、日中においても暗い部分についても改善する必要があるのではないか。

(事務局)

- ・車イス用駐車場は、現状地下駐車場と西側道路上に高齢運転者等専用駐車場が設置されている。店舗横のスペースなど、公園内において、平面レベルに駐車場の設置を検討したい。特に利用されやすい場所（カフェ、アイパル、インクルーシブ遊具など）に隣接して設置を検討したい。
- ・ペットエリアについて、紹介いただいた事例を調査研究していきたい。
- ・現状、日中でも暗くなっている。人が少ないような場所については、適切な樹木配置や、どこからでもアクセスできる動線等を計画していきたい。

(山崎委員)

- ・現状、商店街から公園へのアクセスが良くなく、基本計画では北東部のエントランス空間が広く計画されており良いと考える。北東側交差点をスクランブル化するとよりアクセス性が良くなるのではないか。
- ・目的を持って樹木を整理する上で既存樹木を保全することを実現すれば、皆さんからの理解を得られると思う。
- ・委員会の設置要綱より、委員会の設置が広く市民への意見聴取の目的を達成している

ため、公聴会を別途開催する必要はないのではないか。

(事務局)

- ・ エントランス空間について、将来的に商店街との連携を図るなど、ハードよりソフト面での連携を図ることを検討していきたい。
- ・ 市民の意見の聴取については、意見箱の設置を実施している。市民とともに良い公園を作る方針である。

(菊池委員)

- ・ 先日、国際フェスタが開催された際には多くの子どもが参加し賑わいがあった。サインについて、多国籍な場面に配慮した方が良いのではないか。

(事務局)

- ・ サインについて、多様な人にわかりやすいサイン計画を検討する。

(大塚委員)

- ・ 基本設計のイメージについて、わんぱく広場・キッズ広場が配置された案1の方が良いと考える。高齢者・ビジネスマン・学生等多様な人が使える空間になればより良いと考える。
- ・ トイレの位置について、中央への配置は死角がなく安全である。
- ・ 身体障害者関係団体との協議は継続的に実施していく必要があると思う。

(事務局)

- ・ 基本設計について、今後具体的な検討を進める。
- ・ トイレの検討において、障害者関係団体等とも協議しながら進めてまいりたいと存じており、各設計段階で協力いただきたいと考えている。

(中橋委員)

- ・ 10,000 m²必要なイベントは年間どれぐらいあるか。イベント規模を考えて芝生広場の規模を検討してはどうか。同時多発的にイベントが起こるなど、多様な使い方ができる公園を実現できれば良いと思う。

(神余委員)

- ・ 神戸市東遊園地では、布団かごに雑割石を囲んだもの背もたれのないベンチや、ロングベンチ、モニュメントをうまく取り込んだ配置等工夫が多くなされていた。中央公園においても楽しめるベンチのデザインや配置を計画していただきたい。

(奥村委員)

- ・ 芝生広場の面積についてどのように計画されたのか。
イベント時には広く面積を確保する必要があるが、案1の変化に富んだ空間の方が日常の利用には適していると考えます。

(事務局)

- ・ 芝生広場の面積について、イベント時の必要面積の目安として4 m²/人があるが、現状では高松まつり等の大規模イベントに対応していないので、検討が必要である。

- ・年数回の大規模イベントでなく日常の休憩・休息の場としての利用を優先した場合第1案になる。

(委員長)

- ・イベントを行う場所として、公園内だけでなく道路空間も一体的に活用することも検討してはどうか。

(神余委員)

- ・先日公園に訪れた際、バス停から公園内への見通しが悪く、バス亭から降りた人が公園に入っていない様子を見た。
- ・道路も公園と一体に活用したマルシェの実施を検討してはどうか。

基本設計イメージ案のうち、既存施設の活用を重視した案1を進めるということを確認し、次第4の議論を終了した。

5. その他（今後のスケジュール等）

- ・第3回検討委員会を1月下旬に実施し、設計素案について協議する。
- ・第4回検討委員会を3月から4月頃に実施し、基本設計について最終のとりまとめを行う。

以上